



医療法人財団 織本病院 広報誌

# 月刊 織本

1

2022年1月1日 vol.329

発行 医療法人財団 織本病院  
印刷 〒204-0002  
東京都清瀬市旭が丘 1-261  
TEL 042-491-2121  
URL <https://orimoto-hp.com/>  
発行人 高木 由利



千葉県 君ヶ浜



## あけましておめでとうございます



理事長 高木 由利

世界中がコロナウイルス感染に脅かされる年明けになってしまいましたが、皆様はいかがお過ごしですか。

\* \* \*

コロナウイルス感染の終息が見込めないため、私は所属している滝山聖書バプテスト教会の礼拝になかなか出席することができません。しかし、有難いことに早くからオンライン礼拝が企画され、私は毎週日曜日9時から携帯電話に送られてくるテイ牧師のメッセージを自宅で拝聴しています。1月2日のメッセージは大変深い学びを頂くことができました。旧約聖書詩篇39篇からでした。あの有名なイスラエルのダビデ王が老年になって書いた書です。人生は短くむなしいことをダビデは語っています。そしてその人生とは、あたかも手幅ほど、ほんの1cm位の長さであると。しかし、この短い人生の中で様々なことを求めるのは大切であり、また望みもある。確かに私もそう感じます。私は昨年9月に70歳になり、自分でもちょっと驚きました。織本病院の理事長になってからの30年間は種々の嵐の中を駆け巡ってきた一瞬のことに感じます。その日々は楽しいことばかりではなく、むしろ試練の多い毎日でしたが、今、礼拝のメッセージを聞き振り返ってみると、辛いことの何百倍もの恵みがあったことに気付かされました。それ

は、自分の努力もあったとは思いますが、それ以上に多くの方々、つまり患者さんとそのご家族、職員達、病院を支援して下さる多くの方々、滝山聖書バプテスト教会の方々の祈り、そして私の最愛の2人の息子達も私を見つめ、見守ってくれたことに深い感謝の気持ちが沸き上がってきたのです。

イスラエルのダビデ王は、様々な神様からの懲らしめと試練を受けていますが、それでも神は決して自分を見放すことはなく、愛し、この短い人生を永遠に価値あるものとしてくださることを告白しています。

これから『織本病院』は『きよせ旭が丘記念病院』と名称変更し、エネルギーな病院へと変化していくでしょう。そして、益々地域医療に深く根差した病院を若い力が支えてくれることが大いに期待されています。

2022年が皆様にとっても私達にとっても、より多くの実りある1年となることを心から期待しております。



# 新年の ごあいさつ



昨年の下宿市民センターでのワクチン接種会場の設営も職員が一丸となって対応することで乗り切りましたのでこの経験を生かして、今年2月からの3回目ワクチン接種を開始します。一方、昨年末のニュースでは、世界的に治療薬の開発が進んでいるとの情報もあり、治療薬については、これからの効果の確認が必要とは言え朗報でした。これまで、職員の感染に対する意識の向上と感染対策の努力の甲斐もあり、幸いクラスターを起こさずに通常診療を継続することが出来ました。しかし、感染防御にも限界があるため、効果的で安全性が高い治療薬の早期の登場を待ち望んでいます。

このような環境下でしたが昨年5月から新病院建築が開始されました。建築理由は、昨年にもお伝えしました通り、既存の織本病院の建築構造では、年々、脆弱化していく耐震構造や配管、水回りの老朽化により、安心、安全な医療を継続して提供することができないとの判断から公的融資を支えに決断しました。そして新病院建築の最大の目的は、地域医療を支えることができる耐震構造を持つ建物で良好な診療体制を維持することです。具体的には、清瀬市並びに、周辺の高齢化が進んでいると共に、新築住宅が建つことでニューファミリーの流入もあることから地域に根差した、頼りになる「かかりつけ医」を目指して、診療を継続することにあります。同時に病院名を「医療法人財団 織本病院」から「医療法人財団 きよせ旭が丘記念病院」と改称するための申請を今年8月末の竣工と同時にを行います。2022年11月移転を目指し、地域の皆様のための病院として新たに生まれ変わります。これまで以上に近隣住民の皆様には、新築工事に伴う騒音、工事車両を始めとした安全管理につきましては可能な限りの配慮を心がけてまいりますのでご理解、ご協力の程、お願い申し上げます。本年も宜しくお願い申し上げます。

新年あけましておめでとうございます。昨年も新型コロナウイルスに始まり、一年が瞬く間に過ぎ去ったと感じるのは、私ばかりでは無いようです。しかし、昨年が一昨年と違う点は、新型コロナワクチンの登場によって医療従事者向けの接種を4月に開始することができ、清瀬市からの依頼による5月からの市民接種を下宿市民センターと院内で開始することができました。その結果、合計9,293回の接種を完遂することができました。



専務理事  
箕輪 比呂志



院長 / 心臓血管外科  
藤木 達雄

新年明けましておめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症の渦が世界を飲み込んでから3度目の新年を迎えました。日本では秋以降感染状況が落ち着いているかのように見えていたのですが、年末には新たな変異種オミクロン株が生まれ、その感染力の強さで感染制御が出来ていたと思われていた国や地域も含め再度世界中を渦の中に飲み込んでいます。感染の流行拡大はとどまることを知らず、1月3日には東京や沖縄でも100人を超える感染者が確認され、感染経路不明の市中感染も確認されています。ついにこの時が来てしまったとの思いです。今後さらなる拡大が続き2月には大きなピークを迎えるのではとの予測もあります。

日本では、前述の通り秋以降感染状況が落ち着いたことで、我々も含め心の中に小さなゆるみが出てきているのではとの懸念があります。実際に病院内で使用されている手指消毒剤の使用量が減少傾向など、ゆるみととれる事象が認められています。今年は新病院の完成も控えており織本病院にとって重要な1年になります。このとても大変な状況で私たち織本病院が地域の皆様に対し出来る事は少ないかもしれませんが、しかしやるべき事は沢山あると思います。昨年も述べましたが、まず私たち自身が基本にかえる事が大切です。私たち織本病院の全ての職員が、感染しない事、そして感染させ無い事です。日常の行動にもある程度の制限を行い罹患リスクを減らし、すでに自分自身が何らかの感染症を持っていると意識し、マスクの着用や、手指消毒の励行など標準予防策を徹底する事です。また、ワクチンの接種も進めて参ります。3回目のワクチン接種を行う事で、重症化の予防だけでなく、ある程度の感染予防効果も期待できるからです。病院職員・入院や通院中の患者様のみならず市民の皆様も清瀬市と連携し早期に開始が出来るように計画中です。ワクチン接種が順調に進めば春以降感染状況が昨年秋の状況程度に押さえ込めると期待されています。

入院中の患者さん、外来通院をしている患者さん、織本病院を利用する全ての人の安全・安心を守るために、私たちはこ

れからも感染対策をおこなってまいります。そして、織本病院をご利用なさってください人たちにも引き続きお願いをいたします。施設内に入る際の検温や、アルコールでの手指消毒をして下さい。発熱がある場合には事前に連絡して下さい。皆様の健康や安全を守るための行動です。

気温も下がり、これからますます厳しい状況になると考えられます。医療体制が再び逼迫すれば、高度医療を提供する大学病院や中核病院でも新型コロナウイルス感染症以外の疾患の受け入れが困難になります。感染対策はもとより健康に十分注意しお過ごし下さい。最後に、この厳しい状況が長期間続く中、それぞれ何らかの犠牲を払いながら織本病院の理念に基づき献身的に従事している職員の皆様に感謝いたします。地域医療を一緒に守っていきましょう。



新年あけましておめでとうございます。

昨年一昨年に引き続き我慢の一年となりましたが、こうして新たな年を迎えることができ、職員・患者様・地域の皆様に心より感謝を申し上げます。

おかげさまで消化器領域は順調に内視鏡検査・治療件数は増え、近隣医療機関からのご紹介や遠方からの受診も多くいただいております。大腸ポリープ切除の件数は引き続き多く推移し、それ以外にも消化管止血術、食道静脈瘤結紮術、消化管異物摘出術、食道バルーン拡張術、胃瘻造設術などさまざまな内視鏡処置を行える体制が整ってきました。また、急性肝炎や肝硬変といった肝疾患、膵炎をはじめとする膵疾患も外来・入院ともに増加傾向です。

検査・治療体制の充実により、当院で多数行っている健康診断や人間ドックに始まり、以後の診療・精密検査、必要に応じて入院治療と、消化器内科領域は医療の入り口部分からゴールまで完結できるようにもなりました。それ以外の一般診療についても、広くお受けした上で必要時は各科専門医が対応する体制もごございます。一方で、当院での対応が難しい領域や手術・専門治療を要する場合には、適切な医療機関への紹介・橋渡しがスムーズに行えるようにも努めています。

新病院の建築も進んでおり、さらなる飛躍の一年となることを祈念しております。皆様も引き続き健康にはご留意の上、何かございましたら当院の受診や健診・ドックをよろしくお願ひ申し上げます。



医局長 / 消化器内科  
島田 祐輔



代謝内科・内分泌内科・  
漢方内科  
金原 嘉之

新春を寿ぎ謹んでお慶び申し上げます。

2021年は公私ともに大きな変化のあった年でした。千葉県から転居して久方ぶりに東京都民となり、そして2021年4月に織本病院に入職し、2007年3月以来これまた久方ぶりに多摩地区で診療をすることになりました。また、私事ですが、5月に2児の父となりました。

これまで、糖尿病・代謝内科領域と漢方内科領域の2つの分野を柱として診療を行って参りました。前者に関しては、血糖や脂質などを良好にコントロールしてゆくことにより、将来にもたらされるさまざまな合併症（狭心症や心筋梗塞などの虚血性心疾患、脳梗塞、糖尿病網膜症、糖尿病性腎症、糖尿病性足病変など）に罹る確率の低減を図り、ひいては健康の増進や生活の質の向上がもたらされることを目指して診療にあたっております。こうした観点から地域の皆様のお役に立てればと思っております。特に入院診療においては、血糖値の改善を図る目的での3週間程度の入院加療はもとより、糖尿病患者さんの動脈硬化などの合併症の評価（糖尿病網膜症は除く）や糖尿病教育を4泊5日間で行う短期での教育入院も行っております。普段のかかりつけの先生ともご相談いただいたうえで、ぜひお役立ていただければと存じます。

漢方内科に関しては、西洋医学的な診断がつかない、病態についての見解がまとまらなかったものの、難治に推移しているような状況に対して、漢方医学という異なった切り口からアプローチすることで病状の改善を図ることを目指しています。また、重要な特色として、漢方薬をインスタントコーヒー状にした「エキス剤」による治療に加え、生薬を調合したものを煮出した「煎じ薬（湯液）」による治療も行っていることがあります。煎じる手間がかかる、かさばる、など、確かにデメリットもありますが、薬剤の選択肢が広がること、エキス剤よりも高い効果が得られる可能性があること、などのメリットもあります。実際の生薬を活用した診療を、ぜひ一度検討なさってくださいませればと存じます。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



# 外来診療表

午前受付 8:30 ~ 11:30 (診療開始 9:00) / 午後受付 13:30 ~ 16:30 (診療開始 14:00)

		月	火	水	木	金	土	
内科	午前	金原 嘉之 齋藤 圭子 川島 隆	金原 嘉之 齋藤 圭子	奥村 昌夫 勝矢 由紀子	島田 祐輔 齋藤 圭子 矢島 愛治	杉崎 緑	金原 嘉之 (第1,3) 市川 健一郎 (第2,4,5)	
	午後	担当医	金原 嘉之	村瀬 忠 (第2,4) 担当医	矢島 愛治	島田 祐輔 金原 嘉之 西尾 康英 (第3)	市川 健一郎 (第3除) 坂東 興 (第2,4) 村瀬 忠 (第3)	
外科	午前	藤木 達雄	藤木 達雄	担当医	担当医	藤木 達雄	藤木 達雄	
	午後	担当医	担当医	担当医	担当医	藤木 達雄	担当医	
呼吸器科	午前	齋藤 圭子	齋藤 圭子	奥村 昌夫	齋藤 圭子	杉崎 緑		
	午後							
循環器科	午前	川島 隆			矢島 愛治		市川 健一郎 (第2,4,5)	
	午後				矢島 愛治		坂東 (第2,4)・市川 (第3除)	
消化器科	午前			勝矢 由紀子	島田 祐輔			
	午後					島田 祐輔		
腎臓内科	午前							
	午後					西尾 康英 (第3)		
血液内科	午前							
	午後			村瀬 忠 (第2,4)			村瀬 忠 (第3)	
脳神経外科	午前		佐々木 重嘉			岡田 啓	菱井 誠人 (第3)	
	午後		佐々木 重嘉			岡田 啓		
整形外科	午前				森友 信彦 (第4除)	石井 良介		
	午後		糸川 牧夫 (第2,4,5) (15:00~)		森友 信彦 (第4除)			
心臓血管外科	午前	藤木 達雄	藤木 達雄			藤木 達雄	藤木 達雄	
	午後					藤木 達雄		
泌尿器科	午前	澤崎 晴武				渡辺 栄子	高橋 さゆり	
	午後					渡辺 栄子	加藤 精二 (第2,4)	
皮膚科	午前				宮田 美穂			
	午後							
内視鏡検査	午前	島田 祐輔	島田 祐輔	島田 祐輔		島田 祐輔	池田 (第4以外)・島田 (第4)	
	午後				須田 浩晃 (第2,4,5)			
専門外来	腎不全外来	午前	高木 由利	高木 由利	高木 由利			
	糖尿病外来	午前	金原 嘉之	金原 嘉之	石井 主税			佐藤 潤一 金原 嘉之 (第1,3)
		午後		金原 嘉之			金原 嘉之	佐藤 潤一
	乳腺外来	午前						杉山 迪子 (月1~2回)
	睡眠時無呼吸外来	午前	齋藤 圭子	齋藤 圭子		齋藤 圭子		
	禁煙外来	午後		齋藤 圭子				
	サラリーマン外来	午前						高木 由利 (第1)
漢方外来	午前			金原 嘉之				

※ 予約のない方も受診して頂けますが、予約の方が優先となりますので予めご了承ください。

※ 赤字は女性医師です。※ 腎不全外来・サラリーマン外来は完全予約制となります。

※ 乳腺外来診察日、休診情報などの詳細はお電話または当院ホームページにてご確認ください。

TEL 042-491-2121  
(9:00 ~ 17:00)

## 休診のお知らせ

休診日	診療科目	担当医師
1 / 8 (土)	泌尿器科	加藤 精二
1 / 28 (金)	内科・消化器内科	島田 祐輔
1 / 29 (土)	糖尿病外来	佐藤 潤一
1 / 31 (月)	呼吸器内科・睡眠時無呼吸外来	齋藤 圭子
2 / 1 (火)	呼吸器内科・睡眠時無呼吸外来・禁煙外来	齋藤 圭子
2 / 3 (木)	呼吸器内科・睡眠時無呼吸外来	齋藤 圭子
2 / 4 (金)	整形外科	石井 良介 ※ 2/5 (土) 午前 代診あり
2 / 26 (土)	外科・心臓血管外科	藤木 達雄